

## 応募要項

### I. 応募資格:

#### 教授(診療担当)

次の各号のいずれかに該当し、かつ非常に優れた診療能力と、大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められる者とする。

- (1) 臨床経験を15年以上有する者
- (2) 博士(医学)の学位を有する者。
- (3) 診療及び若手医師の育成並びに診療技術の向上において特に優れた業績を上げている者。
- (4) 大学において、准教授または専任の講師の経歴のある者。

#### 准教授(診療担当)

臨床経験を10年以上有する者、かつ非常に優れた診療能力と、大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められる者とする。

### II. 書類作成上の注意

#### 1. 応募書類

- |                              |    |
|------------------------------|----|
| (1) 履歴書(別紙様式1)               | 1部 |
| (2) 教育活動・研究助成一覧(別紙様式2-1~2-2) | 1式 |
| (3) 業績目録(別紙様式3-1~3-7)        | 1式 |
| (4) 診療実績(別紙様式4)              | 1式 |
| (5) 応募にあたっての抱負(別紙様式5)        | 1部 |
| (6) 上記(1)~(5)を保存したCD         | 1枚 |

#### 2. 記載要領

様式は <http://www.nagoya-cu.ac.jp/med/position/index.html> より Word・Excel のファイルをダウンロードして利用のこと。履歴書を除き、ワードプロセッサなどで作成した印刷文字(原則12ポイント)を使用する。履歴書については、各項目に設定されている文字ポイントを原則使用すること。

- (1) 履歴書(別紙様式1)
  - 1 氏名(ふりがな)・性別(旧姓があれば旧姓及び改姓年月日を記載)
  - 2 顔写真(縦4cm×横3cm)右上添付
  - 3 生年月日・満年齢(記載時点の満年齢)
  - 4 現住所、勤務先の住所を記載
  - 5 電話番号・メールアドレス
  - 6 学歴(高等学校以降を記載。「制度」欄については、在学期間年数ではなく、標準修業年限を記載すること。「該当を囲む」欄については、原則、高校・大学は「卒」を囲む。大学院については、修了している場合は「修」、満期退学等で退学している場合は「退」を囲む。)
  - 7 学位(修士及び博士、学位記番号、授与大学、授与年月日を記載)
  - 8 職歴(所在地は市区町村まで記載。空白期間のある場合は説明を付ける。海外留学または海外出張(3ヶ月以上)は職歴に記載する。「勤務先」欄に海外での受け入れ施設名、「所在地」欄に国名、「職務内容」欄に身分を原語で記載する。)
  - 9 資格・免許(国家資格(登録番号も記載)、その他免許等を記載)
  - 10 所属学会(「主な所属学会」をあげ、役職名(理事・評議員など)をカッコ付けで記載)

11 賞罰(学会賞などの受賞について記入する。賞の名称、受賞題名及び授与機関名等を記入)

12 研究テーマ

(2)教育活動・研究助成一覧(別紙様式2-1～2-2)

- 1 教育実績欄の「内容」は2008年度(平成20年度)以降の実績として学部学生・大学院生などの教育に携わった具体的内容(講義・実習など)を記載する。「時間/年」はコマ数ではなく実時間を目安として記載する(例:90分授業は1.5時間)。他大学での非常勤講師等も含む。
- 2 研究助成欄は2008年度(平成20年度)以降の公的機関あるいは民間の研究助成団体からの助成金を経年的に(古いものから順に)記載する(単位万円、間接経費を含む)。日本学術振興会科学研究費補助金は種目名(基盤(B)など)を記載する。代表研究者の場合は当該研究課題全体の金額と本人の受領分を記載する。分担研究者の場合は研究課題名の後に代表研究者名も記載し、当該研究課題全体の金額と本人の受領分を記載する。複数年度にわたる場合はその総額を記載する。本人取得分が明確に出来ない場合は不明と記載する。
- 3 各欄が不足する場合は、別紙により記入すること。

(3)業績目録(別紙様式3-1～3-7)

1 論文業績

「原著」「著書」「総説」「その他」欄は、欧文・和文に群別した上で、それぞれ経年的に番号を付して記載する。著者名は原文の順に共著者名もすべて記載し、本人の名前に下線を付す。書式用紙が足りない場合は同様の書式でページを追加する。

1) 原著

- ・ 原著は、欧文論文は、PubMed 収載誌に掲載(印刷中を含む)されたものを記載する。和文論文は、医学中央雑誌に掲載されたものだけを記載する。但し、査読審査を経たもののみを記載し、学会等の抄録は原著形式の記述であっても含めない。
- ・ 記載形式は、PubMed の Summary Format に準拠し、「著者名」(全員)、行をかえて「論文の題名」、さらに行をかえて「掲載誌. 発行年(西暦); 巻: 初頁-終頁 .」の順に記載する。
- ・ 応募者が筆頭著者または責任著者 Corresponding author となっている論文には、論文業績リストの番号に\*を付す。

2) 著書

- ・ 「著者名(全員)」、「論文題名(分担執筆の場合)」、「編集者・監修者名」(3名以上の場合は2名までとし、3名以降は *et al.* とする)、「書名」、「出版社名」、行をかえて、「初頁-終頁」、「発行年(西暦)」の順に記載する。

3) 総説

- ・ 年報・紀要・記録集などは除く。和文の場合は、医学中央雑誌に掲載されたものだけを記載する。記載方法は原著記載の要領に準ずる。

4) その他

- ・ 上記の分類に該当しないが重要な業績と思われるもの(PubMed に収載されていない欧文原著、受賞記念論文集、書籍の编者など)について記載する。記載形式は原著・著書の記載要領に準ずる。

(注)印刷中のものは校正刷または受理証明書のコピー(応募時点で採択されているもの)を添付する。

2 学会発表

- ・ 特別講演・招待講演・教育講演・シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップなど(国内学会は一般演題を除く、国際学会は一般演題も含む)について、経年的に記載する。演者名は原文の順に共同演者も含めて記載し、本人の名前に下線を付す。

- ・ 「演題名」(シンポジウムなどでは主題名の次に行をかえて「演題名」)、改行して「演者名」さらに改行して「学会名」「発表年(西暦)」「演題種別」を記載する。

### 3 社会貢献

- ・ 学外組織の委員や一般向けの講演等、社会貢献活動を記載する。従事内容、従事時期を記載する。

### 4 施設運営

- ・ 在籍している(していた)大学・病院等において、学内・院内の委員等、大学・病院運営への貢献について記載する。
- ・ 在籍している(していた)機関が大学・病院以外の場合は、所属機関において、その運営にどのように貢献してきたかを記載する。
- ・ それぞれ従事内容・従事時期を記載する。

### (4) 診療実績(別紙様式4)

書式に従い、次の内容を記載する。

- 1 主な診療分野と取得された認定医・専門医・指導医等(登録番号と登録年月日を含む)
- 2 診療上の特徴について(将来計画中のものなどを含めて)

### (5) 応募にあたっての抱負(別紙様式5)

希望する診療領域および職名を記載した後、応募するにあたっての抱負を A4 用紙 1 ページ以上 2 ページ以内にまとめ記載してください。抱負には、必ず、名古屋市立東部医療センター・西部医療センターと大学附属病院との連携のあり方についてお考えをお示してください。

## III. 公募期間

2018年(平成30年) 11月28日(水)から 12月27日(木)まで(消印有効)

## IV. 送付先

応募書類は書留郵便とし、表に「高度医療教育研究センター教員候補者応募書類在中」と朱書きし、送付してください。

宛先: 〒467-8601 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1  
名古屋市立大学大学院医学研究科長 道川 誠

## V. その他

本学は敷地内禁煙を実施しており、教職員には、この方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力いただいております。

また、セミナー等に関する宿泊と交通費は、応募者自身でご負担いただきますことを予めご承知おきのほどお願い致します。